

完全週休2日実施支援モデル工事（試行）

- **目的**
- ・工事の工期は土日、祝日及び雨天などの不稼働日を考慮して必要な工期を発注者が算定し設定しているが、建設業界においては4週8休の取得が進んでいない状況
 - ・若年労働者をはじめとする建設関係の担い手確保・育成を進めるため、受注者が安心して完全週休2日を実施できるよう発注者が支援

■ 取り組み内容

（入札段階）

- ・積算基準書に基づく工期について、設定根拠やモデル工事の取り組みを「見積参考資料」として入札参加者に提示

（契約後）

- ・施工条件確認部会(*1)、ウィークリースタンス(*2)、工程調整部会(*3)の対象とする。
- ・やむを得ず、土休日に仕事が必要な場合には代休日を確保するルールを受発注者で設定
- ・発注者は土休日に監理(主任)技術者が仕事をしないで済むよう、また、休日確保のため平日に残業が増加することが無いよう、ワンデーレスポンスを適切に実施
- ・経費等の調査、休日取得に関する課題の整理

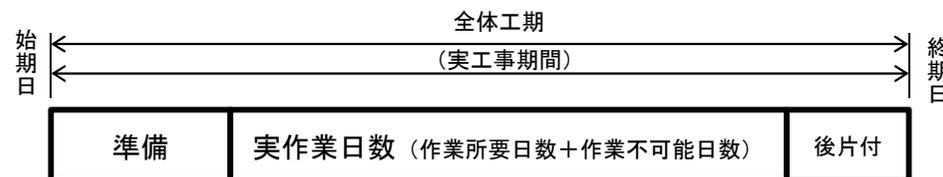
作業日と代休の設定例

月	火	水	木	金	土	日
作業	作業	作業	作業	作業	休	休
作業	作業	作業	作業	作業	作業	休
代休	作業	作業	作業	作業	休	休
作業	作業	作業	作業	作業	休	休

- (*1) 施工条件確認部会
契約後速やかに発注者が受注者に対して最新の施工条件を説明する取り組み
- (*2) ウィークリースタンス
受発注者間のルールを定め仕事の進め方を改善する取り組み（月曜日を依頼の期限としない、水曜日は定時退庁、金曜日に業務を依頼しない）
- (*3) 工程調整部会
工事のクリティカルパスを受発注者間で共有する取り組み

《見積参考資料》（例）

1. 計算条件: 契約予定日 平成27年12月10日(木)
作業所要日数254日
2. 工期設定: 本工事の工期には作業に要する日数に加え休日の他全土曜日等の作業不可能日数、準備・後片付の日数を見込んでいる。
全体工期=準備+実作業日数(作業所要日数+作業不可能日数)+後片付け
(1) 準備日数 : 40日
(2) 実作業日数: 386日 作業所要日数254日+作業不可能日数132日
(3) 後片付日数: 20日
(4) 計 : 446日(=(1)40日+(2)386日+(3)20日)
3. 工期 : 平成27年12月11日(金)~平成29年2月28日(火)
(契約の翌日より446日間)
内訳 実作業日数中の土日・祝日(132日)夏季休暇・SW・年末年始休暇を含む



■ モデル工事(H27)

- ・信濃川下流新光町やすらぎ堤その3工事
- ・国道253号八箇峠トンネル舗装工事
- ・H27加賀拡幅 加茂～中代地区舗装その1工事
- ・H27加賀拡幅 加茂～中代地区舗装その2工事